

平成25年度第2回横浜市子ども・子育て会議 会議録	
日 時	平成25年9月24日(火) 9時15分～10時45分
開催場所	松村ビル本館 マツ・ムラホール
出席者	相原和行委員、明石要一委員、大野功委員、大日向雅美委員、木元茂委員、斎藤有厚委員、佐野健一委員、土谷みち子委員、土山由己委員、遠山博之委員、橋本ミチ子委員、松岡美子委員、蓑田雅委員、森祐美子委員、柳井健一委員、梁田理恵子委員、渡辺克美委員
欠席者	太田恵蔵委員、河原隆子委員、増田まゆみ委員
開催形態	公開(傍聴者6人)
議 題	<p>&lt;議題&gt;</p> <p>(1) 事業計画の策定について</p> <p>(2) 部会の設置について</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>(1) 広報について</p> <p>(2) その他</p>
決定事項等	・部会の設置について
<p>&lt;議題&gt;</p> <p><b>(1) 事業計画の策定について</b></p> <p>(事務局) 資料に基づき説明</p> <p>(明石副委員長) 事業計画の策定について、12ページの目指すべき姿の像は非常によくできていると思いますが、3つの施策分野については行政が行うということでしょうか。行政は給付・事業を行うということでいいのですが、「公助・共助・自助」を3つの施策の中にもうまくはめ込むと、行政・地域・家庭のそれぞれの役割が見えてわかりやすいのではないかと思います。</p> <p>また、ニーズ調査の速報結果は興味深く、保護者の子育てに関する満足度は、未就学児童の保護者は83%くらい、小学生児童の保護者は67%くらいが「満足」と回答されています。この差について、保護者が子どもの夢と希望がしぼんでくるからなのか、施策への評価の現れなのか、また他都市との比較としてどうなのかなど、さまざまな分析が必要ではと感じます。</p> <p>(事務局) 公助・共助・自助については、施策分野3は地域を含めての内容であり、施策分野1と2についても行政と各事業者との協働で実施するものもあり、ご指摘いただいた視点も踏まえて、検討していきます。</p> <p>(松岡委員) ニーズ調査の速報結果について、地域子育て支援拠点を約80%の方が知っているのはすごいと思いますが、利用していない方が71%で、理由として遠いからというのは実際そう思います。各区に1館しかなく地域子育て支援拠点だけではカバーできないというのは、実際自分がやってきて思うところです。地域のサロン、自治会やお店でやっているような居場所に行けているのかどうかが見えていないのですが、地域で自分の居場所があるのかどうかを知りたいと思います。障害のある方についても、はまっ子ふれあいスクールや放課後キッズクラブが利用できないから放課後等デイサービスを利用しているとの回答もありますが、地域の中での居場所があるのか、居場所が必要と思っているのか、もう少し深く知りたいと思います。</p> <p>(大日向委員長) 現時点ではまだ単純集計速報ですが、今後クロス分析や自由記述等も含めてご報告されるということでしょうか。</p> <p>(事務局) そのとおりで、分析した結果や自由意見を含めて、今後ご説明させていただきます。</p>	

(木元委員) 13ページの区域設定についてですが、幼稚園は通園バスを使って広域利用もあるため、区域外利用への配慮をいただきたいと思います。

(事務局) 区域設定については行政区単位になりますが、量の見込み及び確保内容を考えるにあたっては、区域外、市域外利用も考慮して設定させていただく予定です。

(明石副委員長) ニーズ調査について、回収率が各区によりかなりばらつきがありますが、区の特徴の違いなどあるのでしょうか。

(事務局) 問1の%は発送数に対する回収率ではなく、お住まいの区の割合であるため子どもの数が少ない区は割合が低くなったりしています。回収率は今後お示しさせていただきます。

(大日向委員長) 郵送によるアンケート調査は、回収率は20%程度というところですので、今回の横浜市の回収率が45%を超えているのは、横浜市民の意識の高さを表しているのではと考えられ、今後分析を深めていただければと思います。

(蓑田委員) ニーズ調査における回答者についてですが、父親の割合はどのくらいでしょうか。父親と母親では抱える悩みなども違うのではないかと思います。ワーク・ライフ・バランスを考えるにあたっては、父親がどういう視点で悩んでいるか、そういう父親に対して母親が何を悩んでいるか、さらに企業に対しどのようなことが考えられるのか、父親視点で切り分けた課題分析が必要ではと思います。

(事務局) ご指摘をふまえて分析していきたいと思います。

(大日向委員長) 10ページの基本理念(案)の「子ども・青少年の持つ力を、大人がかかわりを通して最大限引き出す」の2項目目「子育てについての第一義的責任を有する保護者がそうした役割を果たせるよう、保護者を支援することも重要である」については、『保護者を支援することも』ではなく『保護者を支援することが』重要である」としていただけると、その重要性が伝わりやすいのではと思います。

## (2) 部会の設置について

(事務局) 資料に基づき説明

(土谷委員) 子育て部会の部会長を務めさせていただくにあたり、担当させていただく分野を確認したいと思います。子育て部会は12ページの施策分野2にかなり連関していると思いますが、特にこの分野のみを重点的にということではなく、すべての施策分野1～3を網羅して話し合うということでもよろしいのでしょうか。

(事務局) ご指摘のとおりで、そのようにお願いしたいと考えています。

(柳井委員) 各部会の開催は、同日開催でしょうか。それぞれの部会委員が、他の部会を傍聴したいというようなこともあるかもしれないので、確認したいと思います。

(事務局) 今のところ、同日に3部会を開催するということは考えておりません。各部会ごとに日程調整を行い、状況により同日になるということはあるかもしれませんが、傍聴のため重ならない方がいいということがあれば、そのような調整も検討します。

(大日向委員長) 各部会の審議状況は、親会議の方にご報告いただくということになりますでしょうか。

(事務局) 各部会での審議内容は、会議録として整理させていただきますので、他の部会の方々にもご報告したいと考えています。

(大野委員) 会議は原則公開とありますが、原則ではない場合も想定されているのでしょうか。

(事務局) 個人情報等を取り扱う会議では非公開の場合がありますが、今回は事業計画の策定ですので、基本的にはすべて公開になると考えています。

＜報告事項＞

(1) 広報について

(事務局) 資料に基づき説明

(大日向委員長) 新制度の構築については、市民の皆様、事業者の皆様のご理解・ご協力が欠かせませんので、こうした広報は非常に重要だと思います。委員の皆様もホームページなどでお気づきの点がありましたら事務局にお声をいただければと思います。

(2) その他

(事務局) 要望関係について、資料に基づき報告

(松岡委員) 「地域子育て支援拠点の成果と展望」についての報告

(大日向委員長) すばらしい情報提供をありがとうございます。「地域子育て支援拠点の成果と展望」は他にどのようなところに配布や説明をされていますか。

(松岡委員) データを作成するまでしか経費がなく、資料配布はできていない状況ですが、お声かけいただければデータをお渡しし、利用していただければと考えています。

(大日向委員長) 以上で、平成25年度第2回横浜市子ども・子育て会議を終了します。

資料	資料1 横浜市子ども・子育て会議委員名簿 資料2 横浜市子ども・子育て会議事務局名簿 資料3 「横浜市次世代育成支援行動計画推進協議会」及び「横浜市子ども・子育て会議」の市民委員選考結果について 資料4 横浜市子ども・子育て支援事業計画（仮称）素案骨子の作成に向けた検討資料 資料5 横浜市子ども・子育て支援事業計画（仮称）の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査について 資料6 横浜市子ども・子育て会議部会について 資料7 広報について 資料8 要望関係について
特記事項	各部会は10～12月に各3回程度開催予定です。次回の会議は2月頃に開催予定です。 日時・場所は、今後調整させていただきます。 本日の議事録は、各委員に確認していただいた後、ホームページで公開する予定です。